

中島茂先生退職記念号 学部長挨拶

日本文化学部長 大塚 英二

中島茂先生におかれましては二〇〇八年度に本学に赴任され、学部改編によって本学部が文学部から日本文化学部に移行する直前から十一年間、学部の教育・研究の先頭に立っていただきましたが、この三月で目出度く定年を迎えられることとなりました。ここに先生の業績を称え、御礼申し上げるとともに、先生の本学・本学部での御仕事を簡単に紹介し、本論集において特集号を組み、先生に謹呈させていただくことになりました。

先生の御専門は人文地理学で、さらに突き詰めると経済地理学という分野でした。綿織物工業にかかわる御著書を出版されています。日本だけでなく海外も含めた地域社会における産業や経済のあり方について、地理的情報を中心に据えて検討するというもので、先生のゼミは毎年多くの学生が参加する人気のゼミでした。ゼミでの県内諸地域の調査は、報告書の形で多く残されていますが、本学のみならず広く学界・地域社会の財産となっています。そして、先生のゼミからは各方面に有為の人材が輩出しております。学生の成長に資する多大な御貢献に対して心から感謝の意を表するものです。

また、先生には着任早々から、新学科となった歴史文化学科主任を皮切りに、教育研究審議会委員、学部長、学術研究情報センター長等々の役職を歴任していただき、教育研究のみならず学内行政の中核を担っていただきました。大学の存在自体が難しい局面にある時期、本当に大変な御仕事をしていただき、さぞかし心労も大きかったのではないかと推察しております。これにつきましても衷心より深謝申し上げます。

さて、人生百年時代などといわれるようになりました。そう考えますと、定年後も春秋に富む世界が用意されているような気がして参ります。先生におかれましては、今後ますます思う存分の御研究を展開されることと存じます。

そのためにはまずは健康第一でございます。そこで、いま一度、先生に心から御礼・御慶賀を申し上げますとともに、先生の末永き御健勝を祈念いたしまして、御挨拶の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございます。